

放送大学文化科学研究投稿要領

令和5年10月4日
放送大学教育研究活動委員会

1. 本誌の目的

オンラインジャーナル『放送大学文化科学研究』(The OUJ Journal of Arts and Sciences)は、放送大学大学院文化科学研究科修士課程修了者、博士後期課程在籍者および博士後期課程修了者の研究成果の発表の場を提供することにより、本研究科が包含するさまざまな専門分野間の学術的交流を促し、本研究科における研究活動の発展に資することを目的として発行される。

2. 投稿区分および投稿資格

(1) 修士研究報告

本学修士号取得後原則3年以内の者による、自身の修士論文の報告。単著に限る。直近の修士論文のみが対象となる。

(2) 修士研究短報

本学修士号取得後原則3年以内の者による、自身の修士論文の短い報告。単著に限る。直近の修士論文のみが対象となる。

(3) 博士研究報告

本学博士号取得後原則3年以内の者による、自身の博士論文の報告。単著に限る。直近の博士論文のみが対象となる。

(4) 博士課程研究論文

本学博士後期課程在籍者が、自身の研究成果を報告する論文。共著も可とする。在籍中に提出予定の博士論文に関連する研究内容のみが対象となる。

3. 査読

査読は行わない。ただし、以下の点で放送大学教育研究活動委員会が本誌への掲載を著しく不適当と認めた場合、不採録とすることがある。また、刊行後に問題が判明した場合には同様の基準に照らして採録の取り消しを行うことがある。

(1) 書き方、議論の進め方などに不明確な点が多く、内容の把握が困難であると判断した場合

(2) 偏見や差別を助長したり、特定の対象を誹謗中傷するような表現があると判断した場合

(3) 剽窃・盗用があると判断した場合

(4) その他、研究倫理に反していると判断した場合

不採録判定に対する異議申し立ては、1 回に限り不採録決定日から 1 4 日以内に書面によって行うことができる。

4. 原稿の作成

4.1 原稿の形式

原稿は次項の投稿要領に従い MS-Word 形式あるいは TeX 形式の電子ファイルとして作成し提出する。原稿の作成にあたっては、投稿区分ごとに指定されたテンプレートもしくはスタイルファイルを利用すること。論文中の図・写真については、高解像度のものを別途独立したファイルとして併せて提出する。

4.2 原稿作成要領

原稿は投稿区分ごとに以下の要領に従って作成する。刷上がり 1 頁はおおよそ和文 2,500 文字、欧文 800 語に相当する。

① 修士研究報告

刷上がり 8 頁を目安とする。論文題目、著者氏名・現所属（任意）、本文（図表・引用文献を含む）によって構成する。和文の場合はこれらに加えて英文題目、著者氏名の英語表記を付すこと。

② 修士研究短報

刷上がり 4 頁を目安とする。論文題目、著者氏名・現所属（任意）、本文（図表・引用文献を含む）によって構成する。和文の場合はこれらに加えて英文題目、著者氏名の英語表記を付すこと。

③ 博士研究報告

刷上がり 8 頁を目安とする。論文題目、著者氏名・現所属（任意）、論文要旨、本文（図表・引用文献を含む）によって構成する。和文の場合はこれらに加えて英文題目、著者氏名の英語表記、英文要旨を付すこと。なお、和文要旨は 600 字以内、英文要旨は 200 語以内とする。

④ 博士課程研究論文

刷上がり 8 頁を目安とする。論文題目、著者氏名・現所属（任意）、論文要旨、本文（図表・引用文献を含む）によって構成する。和文の場合はこれらに加えて英文題目、著者氏名の英語表記、英文要旨を付すこと。なお、和文要旨は 600 字以内、英文要旨は 200 語以内とする。

4.3 原稿作成時の注意

① 著作権の尊重

著作権法第 32 条で定められた適切な引用を行うなど、著作権を尊重すること。図書や雑誌に掲載された図表や写真を使用する場合は、著作権者から許諾を得ること。

② 文章表現

和文横書き原稿については、概ね以下のスタイルによって原稿作成を行うこと。
和文縦書き、欧文による原稿作成については、各研究分野の標準的なスタイルに従うこと。

(a) 章、節、項の見出しは、ポイントシステムによることを基本とする。

(1. 序論 1.1. 研究の目的 1.2. 先行研究 2. 方法... など)

(b) 文章は「である」調とし、簡潔で明確な表現とすること。

(c) 句点にはマル（。）、読点にはコンマ（,）を用いること。

(d) 引用の形式や引用文献の記載方法については、研究分野ごとの標準的なスタイルによること。

4.4 投稿に際して

投稿前に必ず指導教員（修士の場合は研究指導担当教員または研究指導責任者、博士の場合は主研究指導教員）による原稿のチェックを受けること。投稿時には『原稿の複製権および公衆送信権についての許諾確認書』の提出を併せて行う。

4.5 著者校正

校正は初校のみを著者校正とする。原則として文章の書き換え、図（写真）・表の変更は認めない。

4.6 著者、共著者氏名の表記

著者及び共著者氏名としてペンネーム等での投稿を希望する場合には、理由書に基づく申請がオンラインジャーナルワーキンググループによって承認された場合に限り、これを認めるものとする。

5. 本誌掲載論文の著作権

本誌への論文掲載にあたっては、論文の複製権および公衆送信権の放送大学教育研究活動委員会への許諾を前提とする。ただし、論文の著作権（財産権）の移譲は求めない。

6. 要領の改廃

本投稿要領の改廃については、放送大学教育研究活動委員会委員長が委員会に原案を提示し、委員会で協議した上で、委員会出席者の過半数の賛成をもって行う。

この要領は、2023（令和5）年10月4日から施行する。